

世界は深い

カトリック司祭

片柳弘史氏

病床にあった正岡子規が、見舞いに訪れた友人に「あなたにとって世界は広い。わたしにとって世界は深い」と言ったと聞いたことがあります。健康な人は広い世界をあちこち見て歩くだろうが、病気のわたしは自分の庭をじっくりと見る。一輪の花の美しさに驚き、小さな虫の生命に感動しながら、世界の奥深さを味わって日々を過ごすというのです。

遠くに出かけなくても、身近なところに感動はいくらでもある。今回、展示される作品は、わたしたちにそのことを教えてくれるように思いました。たとえ小さな庭でも、そこには数えきれないほどの感動が隠されているのです。芸術家たちの研ぎ澄まされた感性を通してそのことに気づくとき、わたしたちは、思わず歌いださずにはいられなくなるかもしれません。この世界は、あまりにも美しく、驚きと感動に満たされているのです。これらの作品との出会いが、皆さんの癒しと快復のための力となるよう心よりお祈りさせていただきます。

19-23 展を振り返って・・・

本展の概要



2019年 vol.1 『ころ』

2020年 vol.2 『陽だまり』

2021年 vol.3 『はな・うた・さんぽ』

2022年 vol.4 『かほる風』

テーマ： びょういんあーとぷろじえくと19-23展(第17回)
『Vol.5 - ゆきとけ うたうたう 庭』展

会期： 2023年1月23日(月)～3月31日(金)12:00～18:00

会場： 医療法人北志会 札幌ライラック病院1F待合室、通路他
札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号 011-812-8822

後援： 札幌市 札幌市教育委員会
(公財)道銀文化財団 (公財)北海道文化財団
NPO法人市民と共に創るホスピスケアの会

主催： びょういんあーとぷろじえくと

美術家： 安藤文絵、小林麻美、八子直子

テキスト： 片柳弘史

表紙絵： 吉田浩(北の峯学園)、中面の絵： 三宅順子(北の峯学園)

デザイン： 井上始子

撮影： 山岸靖司



びょういんあーとぷろじえくと 19-23 展 全日程

ご連絡先

- vol.1 2019年 小川豊 小山恵裕 佐藤隆之
- vol.2 2020年 上嶋秀俊 野村裕之 山田恭代美
- vol.3 2021年 會田千夏 瀬川葉子 日野間尋子 藤山由香
- vol.4 2022年 伊藤幸子 奥野侯子 佐藤綾香 高橋佳乃子
- vol.5 2023年 安藤文絵 小林麻美 八子直子

びょういんあーとぷろじえくと代表
日野間 尋子

✉ hpj2023@hinoma.com

🌐 www.facebook.com/Byouinaitopurojekuto

🏠 www.hinoma.com/hospitalart/

vol.5

庭

ゆ

き

と

う

け

た

う

た

う

と

け

う

た

う



びょういんあーとぷろじえくと19-23展(第17回) Vol.5 ゆきとけ うたうたう 庭

2023.1.23(月) - 3.31(金) 12:00-18:00

表紙の絵：『花火』吉田浩(北の峯学園)
中面の絵：『はな』三宅順子(北の峯学園)
会場：医療法人北志会 札幌ライラック病院 1F待合室、通路他
主催：びょういんあーとぷろじえくと



八子 直子

やこ なおこ

人間の「祈る」という行為に神秘性を感じています。自分の子の誕生を機に身近な人や生物の、そこから広がる全ての生命の無事や成り立ちを潜考し形にするというアートワークが続いています。この度の展示で、自分の作品を通してできる事は何か?と考えてきました。患者さんご家族、又ケアする側の人不安や葛藤などを作品を目にすることで一瞬でもホッとしたり、ポーッと頭の中を空っぽにできるお手伝いできたらと思います。



1967 北海道恵庭生まれ
北海道教育大学札幌校特別課程美術工芸卒

展覧会

- 2022 「Flying seeds」 (Botanical garden of Uppsala University/Sweden)
個展「雲のフリル」 (gallery レタラ/札幌)
2021 道銀芸術文化奨励賞受賞作家展 (北海道近代美術館/札幌)

賞

- 2022 北海道文化奨励賞
2019 道銀芸術文化奨励賞
1998 古瀬キヨ記念北海道女流選抜展大賞
1994 古瀬キヨ記念北海道女流選抜展奨励賞

小林 麻美

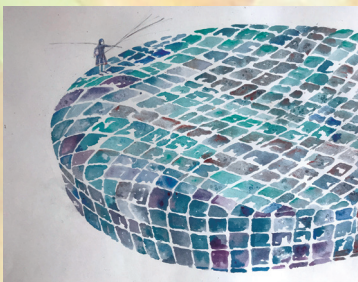
こばやし あさみ

遠い記憶の情景の一つに、雪を被った枝葉を大きく揺らす木々の景色があります。子供の頃、喘息の治療中に窓から見ていた景色です。重たい身体と向かい合う中で、子供心が大きく動いたのかもしれませんが。今も畏敬と美が混在する情景に惹かれ、絵を描きます。この度展示の機会を頂き、動き出す前の深呼吸のような絵が描けたら、と思いました。院内にいらっしゃる方々と作品を窓にして時間を共有出来たら幸いです。

1980 北海道生まれ 札幌在住
2005 北海道教育大学大学院油画科修了

展覧会

- 2021 ミュージアムアートフェア (芸術の森/札幌)
2020 VOCA展2020 (東京・上野の森美術館)
2018 500m美術館 vol.27「絵画の現在地」(北海道札幌市500m美術館/札幌)



賞

- 2020 VOCA展 推薦作家
2018 第73回全道展 奨励賞
2013 第68回全道展 佳作賞
2008 シェル美術賞 入選

安藤 文絵

あんどう ふみえ

4年前の乳癌を通し生かされている恵を実感しました。今回の作品は、一坪ほどの小さなベランダで日々触れ合い、私に力を与えてくれている草木の片鱗です。観る方々の心が呼吸をし、光を感じられるような新しい窓になれば幸いです。

1968 北海道札幌で生まれる
1993 武蔵野美術大学造形学部
美術専攻修士修了

展覧会

- 2010 個展 CAIO2
2009 IAM Encounter
2000 個展 Artfolio in Raffles
Hotel (シンガポール)

賞

- 2008 S-Air Award2008
1999 現代美術賞入選
1991 三雲賞
1991 武蔵野美術大学油絵科研究室賞



社会福祉法人

富良野あさひ郷 北の峯学園

当園は、北海道のちよど真ん中、富良野市にある障害者支援施設です。現在、18歳から91歳まで計99名が生活を共にしています。ひとりひとりが豊かに、そして、楽しみや生きがいが一番に感じられるよう芸術創作活動を大切にしています。「びょういんあーとぶろじえくと19-23」では、パンフレットの表紙絵を担当しました。みてくださる皆さんの心に、笑顔と優しさが広がってくれたら嬉しいです。



ごあいさつ

医療の場を、こころの通った温もりの感じられる人間らしい空間に近づけようと、2019年夏から17名の美術家と行ってきた「びょういんあーとぶろじえくと19-23」は、今回、最終章を迎えます。

途中、コロナ禍により、会えない、触れないといった経験から、切なくも離れることで深まった他者への思いがありました。それまで、あたりまえだった日常が、愛おしくかけがえのないものとして浮かびあがってくるようでもありました。

医療・福祉の場に芸術があるとはどういうことなのか。厳しい状況下にあっても活動を継続させていただけただけで、私たち美術家の中には、誰かを意識し祈るといふ行為に制作を重ねていく人も少なくありませんでした。

人は、個々ばらばらにあるのではなく、心の奥底に相通じる何かを持って生きているように思います。アートがお互いをよりよく知り、人と人との関係性を豊かにすることのひとつとして、社会全体で働いてくれることを願います。

ここまで当活動を導いて下さった全ての皆さまに、こころより感謝を申し上げます。

びょういんあーとぶろじえくと代表

日野間 尋子